

働きかける対象の重心を移すこと

ねむっているブルジョアジーと目ざめたブルジョアジー
論文の主題

少数の人々が、はなはだしい、みにくい悪と戦っているのに、非常に多くのねむっている人々はその悪を意識していないか、それに冷淡である状態を考えてみよ。戦う人々の主要な任務はなにか？ (一) ねむっている人々をできるだけ多く呼びさますこと、(二) 彼らの闘争の任務と闘争の条件について、彼らを啓発すること、(三) 彼らを組織して、勝利をおさめる能力のある勢力にすること、(四) 勝利の果実を正しく利用することを彼らにおしえること。

(一) が (二) — (四) に先行すべきものであり、(二) — (四) は (一) なくしては不可能であることは、当然である。

そこで、少数の人々がすべての人々を呼びさまし、あらゆる人々をつきうごかす、とする。

彼らの努力が、生活そのものもまた発展したおかげで、成功の栄冠をえた、とする。大衆は呼びさまされた。そのとき、呼びさまされた人々の一部が悪の保存を利益とし、あるいは意識的にそれを支持しようとはかり、あるいは、呼びさまされた人々のうちのこのグループにとって有利な側面、有利な部分を保持しようとはかる、という状態が現れはじめる。

こうなればあい、闘士たち、闘争の告知者、呼びさます人々、革命の警鐘を打ちならす人々が、彼ら自身が呼びさましてやったこれらの目ざめた人々に反対することは、当然ではあるまいか？ こうなればあい、闘士たちが、もはや「あらゆる人々」を揺りおこすことに全力を費すのではなく、(一) 第一に、目ざめる能力をもった人人。(二) 第二に、首尾一貫した闘争の思想を受けいれる能力をもった人々。(三) 第三に、真剣に、最後までたたかいぬく能力をもった人々に、重心をうつすことは、当然ではあるまいか。

ロシアの社会民主主義者が自由主義者にたいして、1900—1902年にとった態度（呼びさました）、1902—1904年にとった態度（目ざめかけている人々のあいだに分界線画した）、および1905年にとった態度（目ざめた……裏切者と闘争した）は、このようなものである。

第9巻 P362~363 「ねむっているブルジョアジーと目ざめたブルジョアジー」

1905年9月末に執筆

ポイント

働きかける対象の重心を 全体→真の味方 移す。

民主主義者→プロレタリアートと農民（貧農）

そして、党を建設する場合、第一に、目ざめる能力をもった人人。第二に、首尾一貫した闘争の思想を受けいれる能力をもった人々。第三に、真剣に、最後までたたかいぬく能力をもった人々に働きかけることが重要である。